



R7年12月度:定例会「近江八幡重伝建コース散策」

R7年12月2日(火) 8:10 ~ 17:20

☆行程 名古屋駅発 8:31 ~ 大垣乗換 ~ 米原乗換 ~ 近江八幡着 10:08
近江八幡駅(バス移動) ~ 郷土資料館:ボランティアガイドさんと合流
~ 重伝建コース散策 ~ ランチ ~ 八幡山ロープウェー(眺望・八幡城址)

* 秋晴れの近江八幡重伝建コース(重要伝統的建造物群保存地区)を巡りました。(17名参加)

1585年頃、豊臣秀次公によって開かれた近江八幡の城下町を歩き、その町づくりの巧みさに感銘を受けました。八幡堀の水運を利用した町づくりは、後にこの地が商業都市として発展する礎となりました。堀沿いの紅葉と景観を楽しみながら、400年以上前の活気あふれる賑わいに思いを馳せました。



歴史に息づく近江商人の心意気

・近江商人の歴史、「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神は、現代の私たちにも通じる普遍的なビジネス哲学です。彼らが遠い地まで赴き、地域社会に貢献しながら商いを続けたフロンティア精神と誠実さは、まさに日本経済の原点であり、現代のサステナブル経営やCSR(企業の社会的責任)の概念にも通じる経営理念であると思います。

近江商人は、商品を携えて故郷から遠く離れた土地(江戸や大阪など)へ行き、そこで商売を行いました。単に儲けるだけでなく、その土地の住民に受け入れられ、長く商売を続けるために、世間よしを重視しました。

・地域への貢献: 利益の一部を使い、その地域の公共事業(橋の建設、井戸の整備、学校の建設など)に積極的に参加しました。

・文化の尊重: 地域の風習や習慣を尊重し、その土地に根差した形で商売を行いました。

・信用第一: 誠実な商いを通じて「近江商人なら安心」という信頼を築きました。 → 持続可能なビジネスモデルを確率

近江商人ルーツの企業:伊藤忠商事・丸紅・高島屋・西部グループ・西川 等々





郷土の歴史を楽しむ会

八幡城址



近藤比呂史（30期）080-3688-2590
奥野 幸泰（31期）090-6093-0183

R7年12月度定例会「近江八幡：重伝建コース散策」

令和7年12月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“輪・和・笑”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日 時： 令和7年12月2日（火） 8:10～17:45

☆集 合： JR名古屋駅構内観光案内所前 8:10 名古屋 8:31発→近江八幡 10:08着



☆行 程： 名古屋駅発 8:31～大垣乗換～米原乗換～近江八幡着 10:08

近江八幡駅（バス移動）～郷土資料館：ボランティアガイドさんと合流

～重伝建コース散策～ランチ～八幡山ロープウェー（眺望・八幡城址）

～（バス移動）～近江八幡駅～帰途

※費 用： 1,000円（ガイド料+4館見学料+資料代）

・別途個人別費用： 往復交通費（JR・近江バス）・昼食代・八幡山ロープウェー往復料

・ 参加入力締め切り： 11月25日

※集合時間厳守（移動をスムーズに行うため、集合時にJR乗車券を購入します）

